

事業番号	02 06 01	事業改善シート（令和7年度実施事業分）				☐ 当初要求	☐ 当初予算案	☐ 補正予算案	☒ 点検
事業名	地域活性化推進事業費	部局	企画振興部	課・室	地域振興課				
		実施期間	S45頃 ～	E-mail	shinko @ pref.nagano.lg.jp				

1 現状と課題

・人口減少や少子高齢化の進行に伴い、地域の活力低下など様々な課題が生じているため、人口減少下にあっても、地域の活力を維持・向上するよう、地域がそれぞれの強みや特性を活かしながら、地域の課題を自主的・主体的に解決しようとする取組を進めることが必要である。
・また、将来にわたって持続可能な地域となるためには、地域の課題や条件不利性を克服するだけでなく、地域に今ある資源を磨き上げ、魅力を最大限に活用し、複合的に価値を生み出す取組を県として積極的に支援していくことが必要である。

2 事業目的

・地域づくりの担い手の定着・活躍を促進するとともに、地域住民の対話の場づくりと地域での暮らしを支える取組の支援により、地域の課題を自主的・主体的に解決しようとする取組を推進する。
・さらに、地域ぐるみの意欲的な活動で成果を挙げている地域を厳選し、オンリーワンの「輝く農山村地域」の創造を目指す。

3 事業目的を達成するための取組

①地域おこし協力隊 受入・活躍支援
・協力隊員や市町村担当者の資質向上のため、各種研修・サポートネットワーク会議を開催。
・県で協力隊を継続して配置し、制度の活用方法を周知するとともに、実際の制度活用に向けたサポートを行う。
・制度活用に必要な不可欠な中間支援人材の育成を行うため、研修を開催する。
②地域に寄り添う対話の場づくりを行う人材の育成
・地域に寄り添い対話の場づくりを行う人材を育成する講座（まちむら寄り添いファシリテーター養成講座）を、参加者が一堂に会するような形式で実施し、コロナ禍で停滞していた地域づくり実践者同士のネットワークづくりを促進し、修了生と新規生の学び合いの更なる活性化を図る。
③地域の特性を踏まえた暮らしを支える取組の支援
・特定地域づくり事業協同組合制度の活用を促進するため、設立検討段階から運営支援まで一貫した支援を実施。
・特別豪雪地帯市町村による高齢者等対象世帯への除雪を行う者の派遣に要する経費に対する補助を実施。
④輝く農山村地域の創造に取り組む市町村支援
・地域づくり支援組織による輝く農山村地域創造に取り組む市町村の選定支援・市町村の取組への伴走支援を実施。
・市町村に対する財政支援により、輝く農山村地域創造に向けた取組を加速化。

4 成果指標

（推移の凡例 ↗：改善 ↘：悪化 →：変化なし —：数値なし）

No.	指標名	単位	R5年度	R6年度		R7年度		R7年度 目標値	達成 状況	目標値設定理由
			実績	実績	推移	実績	推移			
①	市町村地域おこし協力隊ステップアップ研修の満足度	%	95.2	88.5	↘	96.4	↗	90	達成	協力隊員の活動ステージなどに応じた研修を行うことで、隊員の活動に必要な支援を行い、資質向上につなげるため、研修参加者の満足度90%以上を維持することを目標とする。
③	特定地域づくり事業協同組合制度コーディネーターによる伴走支援実施市町村数	市町村	-	4	↗	5	↗	10	未達成	総合 5 か年計画期間中に組合がある市町村を12市町村とすることを目標としているため、R7年度は 8 市町村で運営支援を実施し、2 市町村で設立・認定支援を実施することを目指す。
④	輝く農山村地域の創造に取り組む市町村数（累計）	市町村	2	3	↗	4	↗	4	達成	総合 5 か年計画期間中に 5 市町村が輝く農山村地域の創造に取り組むことを目標とする。

5 本事業が貢献する総合5か年計画の施策分野と達成目標

No.	施策分野（施策の総合的展開名）	達成目標 （☆印が付いているものは主要目標）	単位	直近3か年の状況						目標	
				年／ 年度	数値	年／ 年度	数値	年／ 年度	数値	年／ 年度	数値
3-1③	地域活力の維持・発展	地域おこし協力隊員の数	人	2023 (R5)	461	2024 (R6)	545	2025 (R7)	477	2027 (R9)	580
3-1③	地域活力の維持・発展	地域おこし協力隊員の定着率	%	2023 (R5)	77.6	2024 (R6)	81.9	2025 (R7)	87.2	2027 (R9)	85
3-1③	地域活力の維持・発展	特定地域づくり事業協同組合がある市町村数	市町村	2023 (R5)	2	2024 (R6)	2	2025 (R7)	4	2027 (R9)	12
3-1③	地域活力の維持・発展	地域運営組織数	団体	2023 (R5)	255	2024 (R6)	265	2025 (R7)	278	2027 (R9)	289

6 事業コスト

（単位：千円、人）

区分	予算額					決算額	職員数
	前年度繰越	当初予算	補正予算等	合計 （予算現額）	うち一般財源		
R7年度	0	80,470	0	80,470	75,378	71,202	7.0
R6年度	0	66,389	0	66,389	61,709	56,012	7.0
R5年度	0	25,003	0	25,003	22,498	16,958	7.0

9 今後の事業の方向性

(1) 上記 7、8 及び県民の意見等を踏まえた課題

①市町村の地域おこし協力隊ステップアップ研修の満足度が昨年度より向上しており、あわせて地域おこし協力隊の定着率も昨年度を上回っている。このため、引き続き参加者のニーズの把握と研修目的の明確化に努め、隊員の定着に向けた研修内容の充実や、市町村受入れ体制を支援していく必要がある。

②地域における対話の場づくり促進事業については、コロナ禍により地域づくり実践者同士のネットワークづくりが停滞していたことなどから、数年前の修了生に対するフォローアップが難しい状況となっているため、修了生や新規生との更なる関係づくりを図っていく必要がある。

③-1 長野県特定地域づくり事業推進事業については、市町村や事業者における制度への理解不足やマンパワー不足、持続的な運営への不安等が、制度活用に向けた検討を進める上の課題であるため、制度の理解不足や運営への不安等については、継続的なコーディネーターによる訪問で解消する必要がある。

③-2 特別豪雪地帯市町村による高齢者等対象世帯への除雪を行う者の派遣に要する経費に対する補助については、近年の経済状況等を踏まえ制度の見直しを行っていく必要がある。

④持続可能な地域づくりに向けて、地域に今ある資源を磨き上げ、魅力を最大限に活用し、複合的に価値を生み出す取組を引き続き県内に展開していく必要がある。

(2) 事業改善の方策

①過去の研修の満足度等を踏まえて参加者のニーズを把握し、研修目的を明確化したうえで研修を企画する。また、県隊員を活用して制度の活用を推進するとともに、令和 7 年度に実施した中間支援人材育成研修の参加者同士の繋がりを維持するために交流会を実施するなど、引き続き中間支援人材育成に取り組む。これにより、現役隊員の活動支援および隊員の受入体制の整備を進め、隊員の定着を図る。

②地域に寄り添い対話の場づくりを行う人材を育成する講座（まちむら寄り添いファシリテーター養成講座）を、参加者が一堂に会するような形式で実施し、コロナ禍で停滞していた地域づくり実践者同士のネットワークづくりを促進し、修了生と新規生の学び合いの更なる活性化を図っていく。

③-1 コーディネーターによる訪問を制度活用対象である市町村への幅広い制度周知から、組合のある市町村及び検討中の市町村への集中的な支援に切り替え、伴走支援を実施する組合数の増加に繋げる。

③-2 特別豪雪地帯住宅除雪支援事業の実施を通じて大雪時における人的被害・住家被害の防止を図るとともに、近年の経済状況を踏まえた補助単価の改定を行い、市町村の取組を支援していく。

④取り組む市町村に対し人的・技術的・財政的支援を行い輝く農山村地域創造を目指すとともに、作成した広報コンテンツ等を活用した市町村の取組状況の広報により、持続可能な農山村地域づくりの必要性の周知と取組拡大を図る。

事業番号	02 06 01	細事業一覧（令和7年度実施事業分）			□当初要求 □当初予算案 □補正予算案 ■点検
事業名	地域活性化推進事業費	部局	企画振興部	課・室	地域振興課

細事業 No.	細事業名		R5年度 決算額	R6年度 決算額	R7年度 決算額
1	地域おこし協力隊 受入・活躍支援事業		3,740 千円	5,611 千円	7,878 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和7年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	地域おこし協力隊研修	直接	・協力隊員の資質向上のため、初任者研修・スキルアップ研修を開催。 ・担当者の資質向上のため、市町村担当職員研修を開催。 初任者研修（1回）、スキルアップ研修（2回）、市町村担当職員研修（1回）を開催		
2	地域おこし協力隊サポートネットワーク	直接 委託	・10地域振興局毎に運営する協力隊のサポートネットワークにおいて、協力隊員の受入体制の質の向上を図るため、会議等を開催。 ・中間支援組織が企画サポートを実施。 意見交換会（9回※共催あり）、局企画会議等（6回※共催あり）を開催		
3	長野県地域おこし協力隊業務	委託	県で協力隊を継続して配置し、制度の活用方法を周知するとともに、実際の制度活用に向けたサポートを行う。 県協力隊を1名委嘱、制度の活用方法周知（3事例）		
4	中間支援人材育成研修	直接 委託	制度活用に必要な中間支援人材の育成を行うため、研修を開催する。 研修会（全5回）を開催		

細事業 No.	細事業名		R5年度 決算額	R6年度 決算額	R7年度 決算額
2	地域における対話の場づくり促進事業		3,500 千円	3,500 千円	1,641 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和7年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	対話の場づくり人材の活動に対するフォロー研修等の開催	委託	・まちむら寄り添いファシリテーター養成講座として、参加者が一堂に会するような形式での短期集中型の対話の場づくり講座を実施 ・HP等での修了生の活動プロセスや事例等の情報発信 ・修了生が活動を継続するためのフォローアップを実施 修了生フォローアップ研修会開催回数：1回、講座開催回数：1回		

細事業 No.	細事業名		R5年度 決算額	R6年度 決算額	R7年度 決算額
3	長野県特定地域づくり事業推進事業		- 千円	4,638 千円	4,747 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和7年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	特定地域づくり事業協同組合制度コーディネーターの設置	委託	・特定地域づくり事業協同組合制度の活用を促進するため、設立検討段階から運営支援まで一貫した支援を行うコーディネーターを設置 制度の周知等に関する説明会・研修会（4回）		

細事業 No.	細事業名		R5年度 決算額	R6年度 決算額	R7年度 決算額
4	特別豪雪地帯住宅除雪支援事業		3,310 千円	7,195 千円	1,262 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和7年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	特別豪雪地帯住宅除雪支援事業補助金	補助金	特別豪雪地帯市町村による高齢者等対象世帯への除雪を行う者（住宅除雪支援員）の派遣に要する経費に対する補助を実施 補助（7市町村）、延べ派遣回数（750回）（R7実績）		

細事業 No.	細事業名		R5年度 決算額	R6年度 決算額	R7年度 決算額
5	輝く農山村地域創造推進事業		4,427 千円	33,087 千円	53,407 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和7年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	地域づくり支援組織による調査、伴走支援等	委託	・輝く農山村地域創造に取り組む市町村選定に係る調査（ヒアリング）、相談、アドバイス等 ・地域づくり支援組織による市町村の取組への伴走支援・発信支援を実施 市町村選定に係る調査（4市町村）、伴走支援（4団体）		
2	輝く農山村地域創造に取り組む市町村への財政支援	補助金	・市町村に対する財政支援により、輝く農山村地域創造に向けた取組を加速化 輝く農山村地域創造に取り組む市町村への補助 3団体		

細事業 No.	細事業名		R5年度 決算額	R6年度 決算額	R7年度 決算額
6	各種負担金		1,981 千円	1,981 千円	2,267 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和7年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	負担金支払	負担金	地域振興等を行う団体を支援するため、負担金を支出 合計5団体に負担金を支出		